

意見書第3号

道路の整備促進を求める意見書

可決

道路は、町民の生活や暮らしを守り、産業を支える最も基礎的な施設で、災害時には町民の命を守るライフラインとして機能するなど、町民の安全・安心を確保するためにはなくてはならない社会基盤です。

本町では、国道や県道、町道の整備は、いまだに十分とは言えず、一層の道路整備の促進が求められ、また地方創生の実現には道路整備が不可欠であります。

現在、道路事業においては「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」(以下「道路財特法」)の規定により補助率等の嵩上げ措置については、平成29年度までの期限措置となっており、平成30年度以降、その措置が廃止されることになれば、道路整備の推進に深刻な影響を及ぼすこととなります。

よって、国会および政府におかれましては、地方における道路の迅速かつ着実な整備を促進するために、下記の措置を講じられるよう強く求めます。

1. 平成30年度予算において、必要な道路関係予算の総額を編成し、必要な事業の進捗を図ること。また、道路整備に係る補助率等の拡充を図ること。
 2. 道路財特法の補助率等の嵩上げ措置については、平成30年度以降も継続すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成29年12月19日

衆議院議長 大島 理森 様
参議院議長 伊達 忠一 様
内閣総理大臣 安倍 晋三 様
財務大臣 麻生 太郎 様
総務大臣 野田 聖子 様
国土交通大臣 石井 啓一 様

滋賀県 愛荘町議会

記

議決結果

議案番号	件名	上林 村治	西澤 桂一	伊谷 正昭	高橋 正夫	徳田 文治	河村 善一	小杉 和子	吉岡 泰三	瀧 すみ江	森 隆一	竹中 秀夫	辰巳 保	議決結果	月日
意見書第3号	道路の整備促進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	可決	12月19日

○賛成・×反対

町内の主要道路の拡充

Q 狭隘な目加田湖東線
ひだらい
・肥 壘 橋の対策は

A 引き続き、県に対し強く要望をしていく



小杉 和子 議員

町内の道路状況

問 目加田湖東線の肥壘橋は、昔ながらの幅で大型車が頻繁に通行するための欄干が壊れ、直しても1週間から1カ月で壊れる。その対応は。

答 (産業建設部長) 肥壘橋欄干の損傷は、宇曾川右岸を左折または右折する大型車両の接触により発生している。管理者である湖東土木事務所が補修工事を実施している。

問 拡幅工事、それに準備の対応を。

答 (産業建設部長) 橋梁は狭隘で、児童・生徒の安全確保対策の面から、湖東土木事務所に対し要望を行ってきた。

橋梁の拡幅については、長寿命化計画により維持管理を行い、予防保全型管理で対策を行うことにしている。橋梁の拡幅・付け替えは非常に厳しい状況であるが、引き続き県に対し強く要望をしていく。

宇曾川の浚渫

問 近年、多くの台風が襲来し宇曾川が危険水位に達するなど、住民が不安になっている。土砂を浚渫するなどの対策はどのように考えているか。

答 (産業建設部長) 今年の台風21号では、宮後地先や川久保地先に自主避難情報や避難勧告を発令した。宇曾川の浚渫要望は、湖東土木事務所管内でも非常に多いので、町内の早期浚渫は困難と聞いている。

しかし、「災害に強いまちづくり」を進めるため、河川増水や河川決壊の懸念される箇所について、引き続き強く要望を行っていく。



JA給油所前の肥壘橋

問 栗田湖東線の拡幅事業は、進んでいるか。

答 (産業建設部長) 国道8号から近江鉄道の区間では、平成28年度に3回、沿線地権者の説明会を行っている。また、豊満神社付近においては、神社役員と協議を重ね法線の承諾を得た。いずれも今年度は詳細設計を行い、来年度は用地測量を計画している。



宇曾川・沖地先

燃やすごみ袋

問 燃やすごみ袋について、「破れやすい」との声を住民の方からよく聞く。その対策は、どのようにしているか。

答 (環境対策課長) 燃やすごみ袋は、ごみを均一にするため攪拌(かくはん)して処理をしており、裂けやすく製造されている。しかし、住民の方から「裂けやすい」との指摘があり、リパースセンターの担当者や課長会において協議を行った。

今年度は製造工場を変更するとともに、来年度は仕様書の変更(形状変更)を行う予定である。